

3Rアドバイザー事業

※対象事業者：✓オフィス・商業施設（病院や学校での実績もあり）
✓ 再利用計画書の提出事業者

廃棄物の知見が豊富な「3Rアドバイザー」が、明日からカンタンに実践できる3Rの取組事例をご紹介します。

廃棄物に関するこんな課題はありませんか？

ごみの現状把握や周知ができていない



- ・委託業者に任せてしまっている
- ・社員や職員への分別周知に悩んでいる
- ・テナントへの協力依頼に悩んでいる

自社の取組を見直したい



- ・自社の取組レベルが知りたい
- ・他の事業所の取組例が気になる
- ・良い事例を教えてください

新しい取組を始めたい



- ・オフィスの削減に取組みたい
- ・3RやSDGs推進のため、新しい取組を始めたい

事業所内の3R・SDGsの推進に悩んでおり、具体的なアクションまで起こせていない……

3Rアドバイザーと一緒に解決します！

3Rに関するアドバイス

1 現状の取組状況を把握

現状についてお話を伺い、現地確認のうえ、口頭で簡単なアドバイス。他の事業所での好事例も紹介。

アフターフォロー

2 継続したサポート

訪問後から概ね1年後に、改めて事業所への訪問やアンケート調査を実施。各種課題に対する解決策の提案やお取組状況を確認。

講習会の開催

3 事業所内の周知

分別周知の徹底のため、事業所内での講習会の開催について、ご要望に応じて対応可能。

無料です！

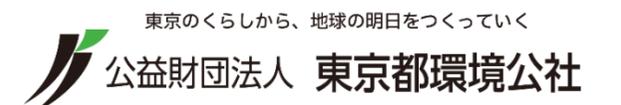
事業所における3R・SDGsの取組推進をサポートします。

アドバイス例

<p>文房具のリユース</p> <p>不要になった文房具を生徒間で共有できるよう、文房具のリユースコーナーを設置</p> <p>学校 オフィス</p>	<p>使い捨てプラスチックの削減</p> <p>雨天時の傘用ビニール袋を廃止し、傘立てや傘のしずく落としを設置</p> <p>オフィス 商業施設</p>	<p>食品リサイクル</p> <p>調理場から排出されている厨芥類が全て焼却処分されていたため、食品リサイクル（飼料化・肥料化・メタン化）の手法を紹介</p> <p>病院 介護施設</p>	<p>サステナブル・レポート</p> <p>フィードバック資料として提供。都内の他事業者と比較した取組レベルが分かるため、自社の取組改善時に活かせる。</p>
<p>計量の実施</p> <p>廃棄物の計量が処理業者任せだったため、自ら計量することで、廃棄物の排出状況を把握</p> <p>オフィス テナントビル</p>	<p>ごみの発生状況の共有</p> <p>建物から出されるごみの排出量と再利用量をデータで共有することでごみ分別の当事者意識の向上につながる</p> <p>テナントビル オフィス</p>	<p>テナント会議</p> <p>廃棄物の発生状況をテナントと共有するために、テナント会議や店長会議を開催</p> <p>テナントビル 商業施設</p>	
<p>3Rガイドライン</p> <p>プラスチック・紙類、食品リサイクルの3Rについて掲載。取組事例の紹介もあり。</p>			

お問い合わせ

東京サーキュラーエコノミー推進センター
住所：東京都墨田区江東橋4-26-5東京トラフィック錦糸町ビル5階
TEL：03-6666-9162



サーキュラーエコノミーの実現に向けて

T-CECの取組紹介

東京都は、2050年ゼロエミッションの実現に向け、2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減するカーボンハーフとその先の未来を見据え、「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」を策定しました。2035年までに温室効果ガスの排出量を60%以上削減（2000年比）する新たな目標と、その達成に向けて、再生可能エネルギーの基幹エネルギー化、ゼロエミッションビルの拡大、水素エネルギーの普及拡大、サーキュラーエコノミーへの移行等の政策分野において、31の個別目標を設定し、実行性ある施策を推進しています。

ゼロエミッション東京の実現に向け、東京都と公益財団法人東京都環境公社に設置された東京サーキュラーエコノミー推進センター（以下T-CEC）では、都民、事業者、関係団体、自治体と連携を図りながら、サーキュラーエコノミーの実現に向けた事業を実施しています。

具体的にT-CECでは、持続可能な資源利用に関する情報発信やシンポジウムの開催、サーキュラーエコノミーの早期導入にあたる具体的な取組への支援、多様な主体による実践的な行動変容活動への支援等に取り組んでいます。

サーキュラーエコノミーの実現に向けた補助事業

サーキュラー・エコノミーの実現に向けた社会実装化事業

地域密着型のサーキュラーエコノミーの実現を目指す事業者等を公募し、その取組の社会実装化を支援します。

- **受付期間** 令和7年5月開始（予定）
- **補助対象**
 - ・ 都内におけるサーキュラー・エコノミーの実現に繋がるプラスチックや食品ロスの削減に係る取組のうち、地域でのモデル事業や実証事業、関連する調査や情報発信等を行うもの
 - ・ 原則として、複数の事業者・団体等が連携して取り組むもの
- **令和6年度採択事業例**

赤坂インターシティAIR 1棟まるごとマイボトル化PJ
 オフィスビル1棟全体で、入居テナント企業と協力し、洗浄機を活用したマイボトルの普及を図る。



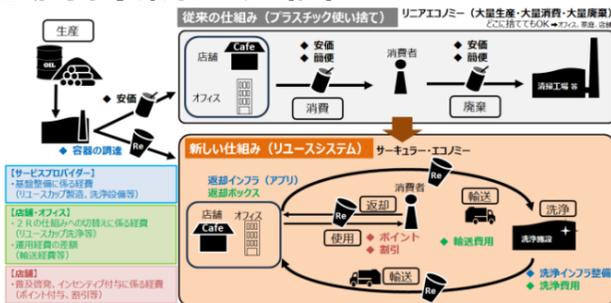
キャラベジプロジェクト
 規格外野菜とふれあえるワークショップを開催し、規格外野菜の価値向上を図る。



サーキュラー・エコノミーへの移行推進

プラスチック資源循環に向けた2Rビジネス・水平リサイクルの社会実装・事業拡大に取り組む事業者を支援します。

- **受付期間** 令和7年4月1日（火曜日）から令和9年3月31日（水曜日）まで
- **補助対象**
 - ・ 2Rビジネス又は水平リサイクルに関する取組について、社会実装するために事業に着手するもの又は事業の拡大を行うもの
 - ・ 複数の事業者・団体等が連携して取り組むもの
- **補助対象事業イメージ（例）**



資源循環・廃棄物処理のDX推進事業

産業廃棄物処理業者が行うDXを活用したサーキュラー・エコノミーに資する事業構築に対する取組を支援します。

- **受付期間** 令和7年4月28日（月曜日）から令和8年3月31日（火曜日）まで
- **補助対象**
 - ・ 東京都の優良性基準適合認定制度の認定を受け、東京都内において産業廃棄物処理の実績を有している者
 - ・ 産業廃棄物「排出事業者」と連携した取組であり、補助対象事業の完了から60日以内又は令和9年3月31日のうちいずれか早い日までに、構築した事業の排出事業者への提供を開始すること
 - ・ サーキュラー・エコノミーへの貢献に資する数値目標を設定するとともに、補助対象事業の完了時に設定した目標を達成すること
- **取組例**
 - ・ ICTを活用したごみ箱のスマート化
 - ・ AI配車による収集ルート効率化
 - ・ 排出事業者と共有可能な、処理過程情報等のプラットフォーム構築
 - ・ IDタグやブロックチェーン等を活用したごみ処理の透明化
 - ・ 処理等に要する環境負荷（CO2排出量等）の見える化

小売ロス削減総合対策

中小小売事業者が取り組む食品ロス対策費用を補助します。

- **受付期間** 令和6年5月30日（木曜日）から令和7年12月31日（水曜日）まで
- **補助対象**
 - ・ 都内で店舗を運営する食品小売事業者（中小企業、中小企業団体又は個人事業主）
- **交付要件**
 - ・ 交付対象となる経費が、他の補助金等の交付を受けていないこと
 - ・ 「賞味期限前食品の廃棄ゼロ行動宣言」に掲げた納品期限の緩和等の取組に賛同し、都の情報発信に協力できること
 - ・ 都内における食品ロスの削減又は食品リサイクルの取組であること 等



情報発信・相談マッチング事業

公式Webサイト：TOKYOサーキュラーエコノミーアクション

先進的な資源の循環利用の取組等、事業者等の行動変容を促す情報を発信しています。



▲東京都のプロジェクト紹介



▲事業者の取組紹介

公式X

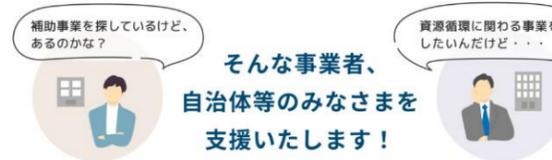
補助事業の受付開始など、リアルタイムで情報を受け取ることができます。



是非フォローをお願いいたします！

相談・マッチング事業

サーキュラーエコノミーの実現に向けて、都民・事業者等から資源の循環利用に関する相談やマッチングの依頼をワンストップで受け付け、取組のサポートを行っています。



R6年度相談実績：78件 マッチング実績14件

サーキュラーエコノミーサロン

サーキュラーエコノミーに資する新ビジネス創出のための学び、ネットワーキングの場づくりを目的として、“サーキュラーエコノミーサロン”を開催しています。

	R6年度 開催テーマ	参加者数
第1回	サーキュラーエコノミーの取組に関する自治体の情報交流会	51名
第2回	サーキュラーエコノミーに資するビジネスの取組事例紹介	42名
第3回	食品ロス削減に係る学生の取組事例紹介及び意見交換	54名
第4回	オフィス・商業施設における3R促進についての意見交換	80名
第5回	産業廃棄物処理業界におけるDX活用の可能性	48名



サロンの開催風景

オンラインシンポジウム

サーキュラーエコノミーに向けた機運を高めていくため、有識者による講演や事業者の先行事例等を動画に取りまとめ発信しています。R6年度テーマ：「オフィスにおけるプラスチック資源ソリューション」

	内容	登壇者・登壇企業
基調講演	オフィスにおけるプラスチック対策とはじめ	総合地球環境学研究所 浅利教授
事例1	累計利用15万回突破！シェアオフィスへのリユースカップサービスの導入	三井不動産株式会社、株式会社Circlloop
事例2	芝浦から世界へ！行動変容の仕掛け満載「マイボトル利用促進プロジェクト」	株式会社関電工、株式会社サトー
事例3	社内リソースを最大限に活用！リユースカップ運用の裏側公開	武田薬品工業株式会社、一般財団法人地球・人間環境フォーラム
事例4	ごみ袋や商業施設のデッキプレートに变身！オフィスプラのマテリアルリサイクル	テラレムグループ株式会社、エム・エム・プラスチック株式会社
事例5	プラスチック資源循環の実現に向けて	東京都



TOKYO海ごみゼロアクション

東京の海に新たなプラスチックごみを流出させないよう、東京の海ごみ問題を都民に広く啓発するとともに、海ごみや河川ごみの清掃活動への参加につなげる「TOKYO海ごみゼロアクション」を実施しています。



TOKYO海ごみゼロアクション Webサイト



小笠原でのビーチクリーンの様子